

日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2025の概要

令和7年12月25日
中央労使協働委員会
労使協働小委員会

1 調査の目的

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

2 調査方法

(1)調査対象

職員 4,913 人(派遣職員等を除く)を対象に実施しました。
なお、有効回答者数は 2,778 人、回答率 56.54%でした。

(2)調査期間

令和7(2025)年10月6日～10月24日

(3)調査内容

「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」を実現するために必要と考えられる6つのテーマに分類し、集計しました。

- | | |
|--------------------------|--------|
| ① 安全・安心に関すること | (設問6問) |
| ② 時間に関すること | (設問5問) |
| ③ 男女共同に関すること | (設問4問) |
| ④ 職場の「支えあい」を実現するために | (設問5問) |
| ⑤ 意欲を持って働くために | (設問6問) |
| ⑥ ライフ・ワーク・マネジメントを実現するために | (設問2問) |

計28問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

(4)算出方法

上記(3)の28問について、各設問5点満点とし、全体で100点満点となるように割り戻し算出しました。

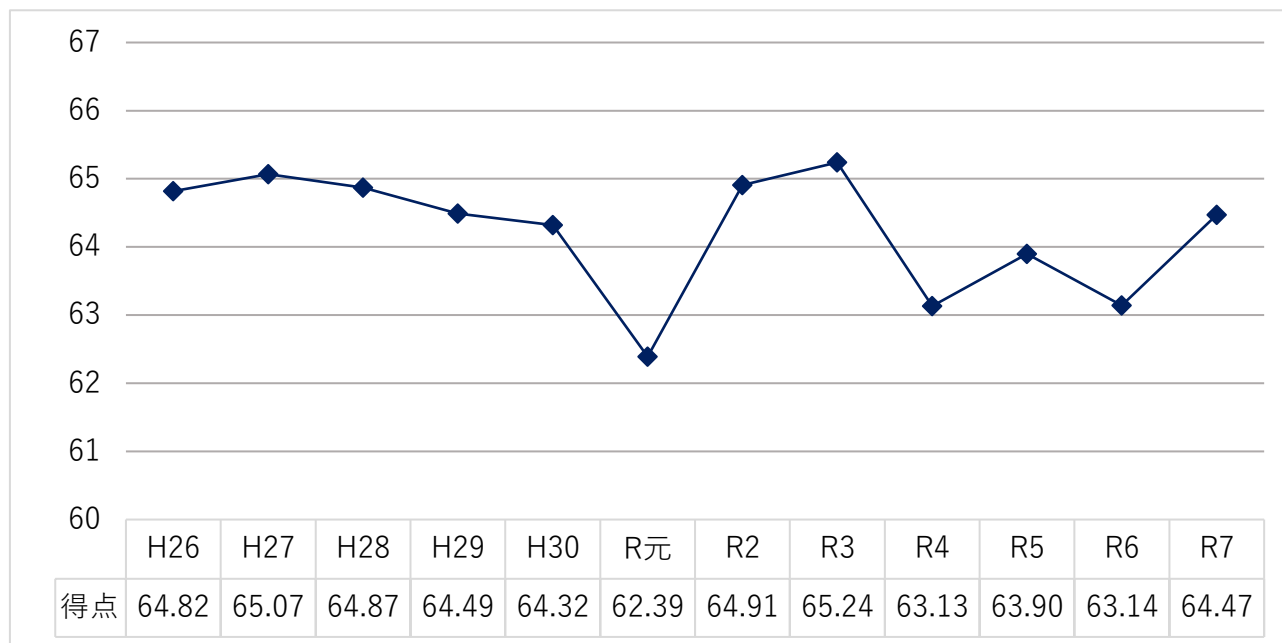
3 調査結果の概要

(1)全体の満足度(別紙1)

全体の満足度は64.47点となり、昨年度より1.33点上昇したほか、現在の設問となったH26以降、過去12年間で7番目に高い満足度となりました。

(参考)職員アンケートの全体満足度得点推移

年度	全体満足度点数	順位
H26(2014)	64.82 点	5位
H27(2015)	65.07 点	2位
H28(2016)	64.87 点	4位
H29(2017)	64.49 点	6位
H30(2018)	64.32 点	8位
R元(2019)	62.39 点	12位
R2(2020)	64.91 点	3位
R3(2021)	65.24 点	1位
R4(2022)	63.13 点	11位
R5(2023)	63.90 点	9位
R6(2024)	63.14 点	10位
R7(2025)	64.47 点	7 位



(2)設問別の満足度

① 得点順の結果

順位	設問内容	得点	昨年度比
1	問 12 子育て・介護への理解	3.89 点	+0.03 点
2	問 15 性別にかかわらず能力の発揮	3.77 点	+0.10 点
3	問 5 ハラスメント	3.76 点	+0.06 点
4	問 8 通勤時間	3.76 点	+0.08 点
5	問 4 仕事上の相談相手	3.75 点	+0.03 点
6	問 13 男性職員の子育て・介護への理解	3.67 点	+0.07 点
7	問 16 人間関係	3.58 点	+0.08 点
8	問 20 研修への参加	3.55 点	+0.11 点
9	問 7 休暇取得	3.51 点	+0.09 点
10	問 19 方針等決定への参加	3.47 点	+0.09 点
11	問 18 情報共有	3.46 点	+0.08 点
12	問 27 充実させていこうとする雰囲気	3.35 点	+0.08 点
13	問 10 総勤務時間	3.25 点	+0.02 点
14	問 14 子育て・介護の制度	3.25 点	+0.14 点
15	問 23 正当な評価	3.22 点	+0.04 点
16	問 9 仕事配分、業務量	3.14 点	+0.03 点
17	問 3 心と体の健康	3.13 点	+0.10 点
18	問 6 福利厚生の事業	3.02 点	+0.11 点
19	問 2 精神的不安	2.95 点	+0.09 点
20	問 17 連続休暇	2.89 点	+0.08 点
21	問 22 個性や能力の発揮	2.86 点	+0.07 点
22	問 21 やりがい	2.82 点	+0.04 点
23	問 11 業務見直し	2.80 点	+0.08 点
24	問 24 給与	2.78 点	▲0.01 点
25	問 25 人事異動(配置)	2.77 点	+0.07 点
26	問 1 職場環境	2.72 点	+0.15 点
27	問 28 充実した働き方、生き方	2.69 点	▲0.07 点
28	問 26 昇任のしくみ	2.48 点	0.00 点

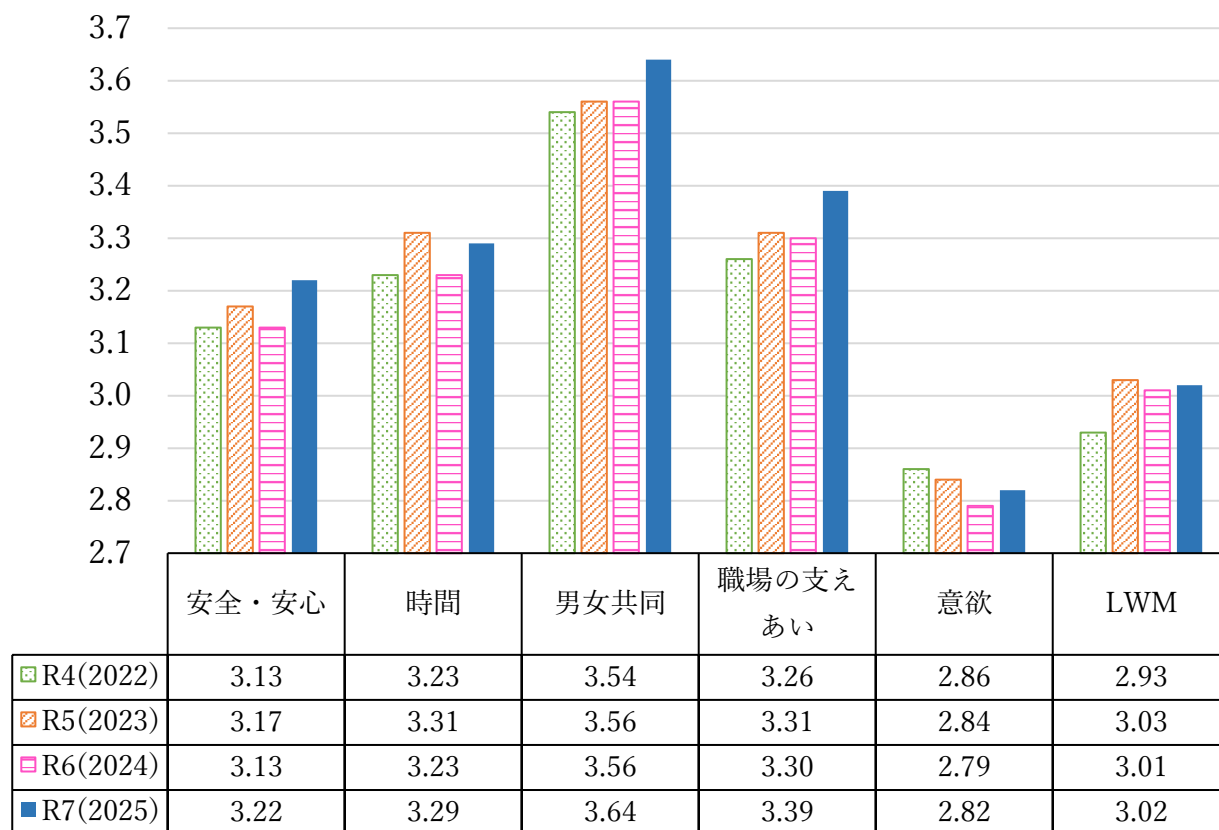
② 昨年度との比較

昨年度比		設問内容	得点	順位
+0.15 点	問 1	職場環境	2.72 点	26
+0.14 点	問 14	子育て・介護の制度	3.25 点	14
+0.11 点	問 20	研修への参加	3.55 点	8
+0.11 点	問 6	福利厚生の事業	3.02 点	18
+0.10 点	問 3	心と体の健康	3.13 点	17
+0.10 点	問 15	性別にかかわらず能力の発揮	3.77 点	2
+0.09 点	問 19	方針等決定への参加	3.47 点	10
+0.09 点	問 2	精神的不安	2.95 点	19
+0.09 点	問 7	休暇取得	3.51 点	9
+0.08 点	問 16	人間関係	3.58 点	7
+0.08 点	問 17	連続休暇	2.89 点	20
+0.08 点	問 11	業務見直し	2.80 点	23
+0.08 点	問 8	通勤時間	3.76 点	4
+0.08 点	問 18	情報共有	3.46 点	11
+0.08 点	問 27	充実させていこうとする雰囲気	3.35 点	12
+0.07 点	問 25	人事異動(配置)	2.77 点	25
+0.07 点	問 13	男性職員の子育て・介護への理解	3.67 点	6
+0.07 点	問 22	個性や能力の発揮	2.86 点	21
+0.06 点	問 5	ハラスメント	3.76 点	3
+0.04 点	問 23	正当な評価	3.22 点	15
+0.04 点	問 21	やりがい	2.82 点	22
+0.03 点	問 9	仕事配分、業務量	3.14 点	16
+0.03 点	問 4	仕事上の相談相手	3.75 点	5
+0.03 点	問 12	子育て・介護への理解	3.89 点	1
+0.02 点	問 10	総勤務時間	3.25 点	13
0.00 点	問 26	昇任のしくみ	2.48 点	28
▲0.01 点	問 24	給与	2.78 点	24
▲0.07 点	問 28	充実した働き方、生き方	2.69 点	27

(3)テーマ別の満足度

直近4年間で6つのテーマ毎に集計したところ、いずれの年度も「男女共同」に関する満足度が最も高く、「意欲」に関する満足度が最も低い傾向があります。

令和7年度は、全てのテーマにおいて昨年度よりも高い点数となりました。また、「安全・安心」「男女共同」「職場の支えあい」に関する満足度は、直近4年間で最も高い結果となりました。



(4)属性別の満足度(別紙2)

① 所属区分別

所属区分別の満足度については、昨年度同様、「県立学校」が最も高い結果となりました。また、昨年度と比較して、「他の地域機関」「地域庁舎の事務所」「本庁」において点数が増加しました。

順位	所属	得点	昨年度比
1	県立学校	66.87 点	▲0.28 点
2	他の地域機関	65.57 点	+1.77 点
3	地域庁舎の事務所	65.26 点	+1.36 点
4	本庁	63.21 点	+1.23 点

② 部局別

部局別の満足度については、上位3位が「病院事業庁」(81.45点)、「各種委員会」(73.50点)、「出納局」(73.21点)となる一方、下位3位が「子ども・福祉部」(60.59点)、「環境生活部」(61.26点)、「防災対策部」(61.54点)という結果となりました。

また、昨年度と比較すると、「観光部」(+19.03点)や「政策企画部」(+11.73点)、「議会事務局」(+10.99点)において増加幅が大きくなりました。

部局別の満足度を所属区分(本庁／地域庁舎の事務所／他の地域機関／県立学校)別に確認したところ、特に昨年度からの増減幅が大きい部局は次のとおりでした。

【昨年度から 5.00 点以上点数が増加した部局】

所属	得点	昨年度比	プラスが大きい上位3項目
観光部	70.05 点	+19.03 点	①「1 職場環境」+1.49 点 ②「15 性別にかかわらず能力の発揮」+1.45 点 ③「11 業務見直し」+1.24 点
政策企画部 (本庁)	70.76 点	+15.60 点	①「11 業務見直し」+1.25 点 ②「5 ハラスメント」+1.23 点 ③「3 心と体の健康」+1.22 点
防災対策部 (他の地域機関)	67.98 点	+12.42 点	①「5 ハラスメント」+1.39 点 「11 業務見直し」+1.39 点 「21 やりがい」+1.39 点
教育委員会事務局 (地域庁舎の事務所)	84.17 点	+11.43 点	①「24 給与」+1.33 点 ②「6 福利厚生」+1.17 点 ③「10 総勤務時間」+1.00 点 「28 充実した働き方、生き方」+1.00 点

議会事務局	71.77 点	+10.99 点	①「26 昇任のしきみ」+1.45 点 ②「2 精神的不安」+1.14 点 ③「21 やりがいい」+1.00点
-------	---------	----------	---

【昨年度から 5.00 点以上点数が減少した部局】

所属	得点	昨年度比	マイナスが大きい上位3項目
政策企画部 (他の地域機関)	71.75 点	▲13.28 点	①「25 人事異動(配置)」▲1.34 点 ②「26 昇任のしきみ」▲1.06 点 ③「2 精神的不安」▲1.04 点 「14 子育て・介護の制度」▲1.04 点
防災対策部 (本庁)	59.32 点	▲5.68 点	①「23 正当な評価」▲1.00 点 ②「13 男性職員の子育て・介護への理解」▲0.54 点 「25 人事異動(配置)」▲0.54 点

③ 地域庁舎別

地域庁舎別の満足度については、「熊野庁舎」(72.81点)が最も高く、「鈴鹿庁舎」(59.34点)が最も低い結果となりました。

また、「熊野庁舎」「尾鷲庁舎」の満足度が昨年度から大きく増加した一方で、「鈴鹿庁舎」では、昨年度からの減少幅が大きくなりました。

順位	地域庁舎	得点	昨年度比
1	熊野庁舎	72.81 点	+4.93 点
2	尾鷲庁舎	68.87 点	+4.39 点
3	桑名庁舎	67.62 点	+1.88 点
4	伊勢(志摩)庁舎	65.88 点	+3.62 点
5	伊賀庁舎	65.73 点	+1.36 点
6	四日市庁舎	65.36 点	+1.50 点
7	松阪庁舎	62.57 点	▲1.81 点
8	津庁舎	62.21 点	▲1.14 点
9	鈴鹿庁舎	59.34 点	▲4.11 点

④ 役職別

役職別の満足度については、例年同様、「課長級以上」が最も高く、「課長補佐級(主幹等)」が最も低い結果となりました。また、昨年度と比較して、いずれの役職も増加しました。

順位	役職	得点	昨年度比
1	課長級以上	73.36 点	+1.87 点
2	一般(主事、技師)	66.93 点	+1.82 点
3	課長補佐級(本庁の班長、地域の課長)	61.97 点	+1.48 点
4	主査級	61.70 点	+0.08 点
5	主任級	61.07 点	+0.82 点
6	課長補佐級(主幹等)	59.88 点	+0.66 点

⑤ 勤続年数別

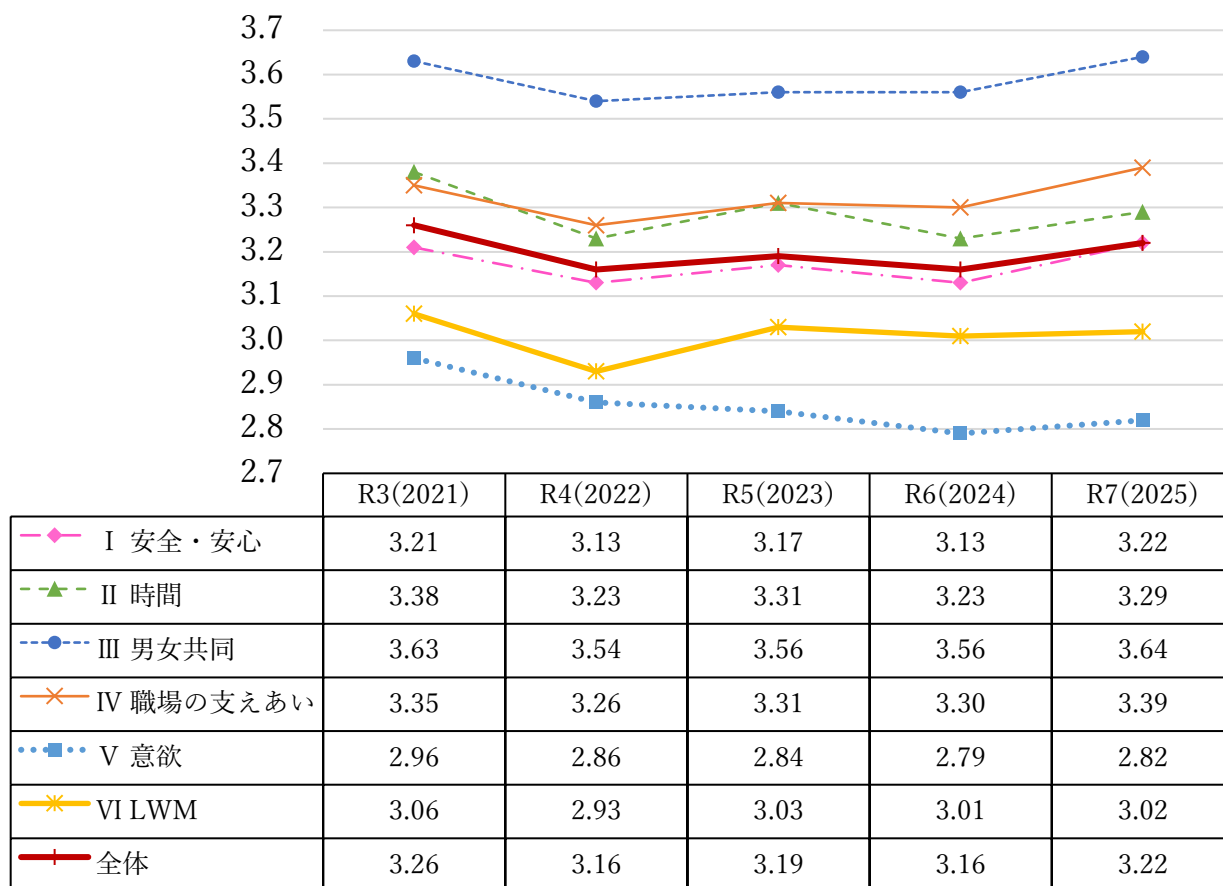
勤続年数別の満足度については、「5年目以下」が最も高く、「11年目～15年目」が最も低い結果となりました。また、「16年目～20年目」「11年目～15年目」を除いて昨年度よりも増加しました。

順位	勤続年数	得点	昨年度比
1	5 年目以下	68.30 点	+1.51 点
2	36 年目以上	66.55 点	+0.33 点
3	31 年目～35 年目	66.32 点	+2.39 点
4	26 年目～30 年目	64.66 点	+3.98 点
5	6 年目～10 年目	61.46 点	+1.35 点
6	21 年目～25 年目	60.58 点	+0.34 点
7	16 年目～20 年目	60.09 点	▲1.29 点
8	11 年目～15 年目	59.40 点	▲0.92 点

(5)テーマ別分析

- ・「Ⅱ時間」「Ⅲ男女共同」「Ⅳ職場の支えあい」の点数が全体よりも高く、「Ⅴ意欲」「Ⅵライフ・ワーク・マネジメント」の点数が全体よりも低くなっています。
- ・「Ⅴ意欲」について、昨年度より上昇したものの、全ての年度において最も低くなっています。

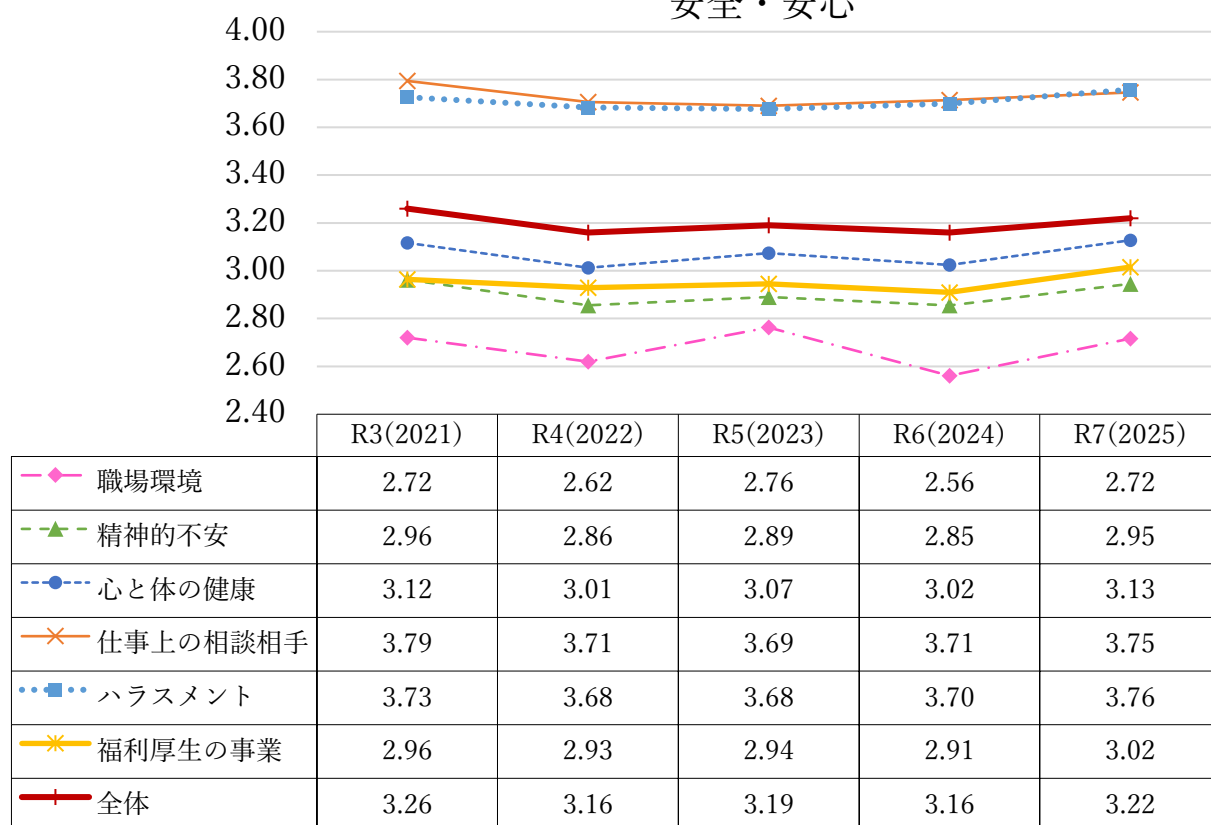
テーマ別満足度（R3～R7年度）



I 安全・安心

・全ての設問において、昨年度より増加しました。

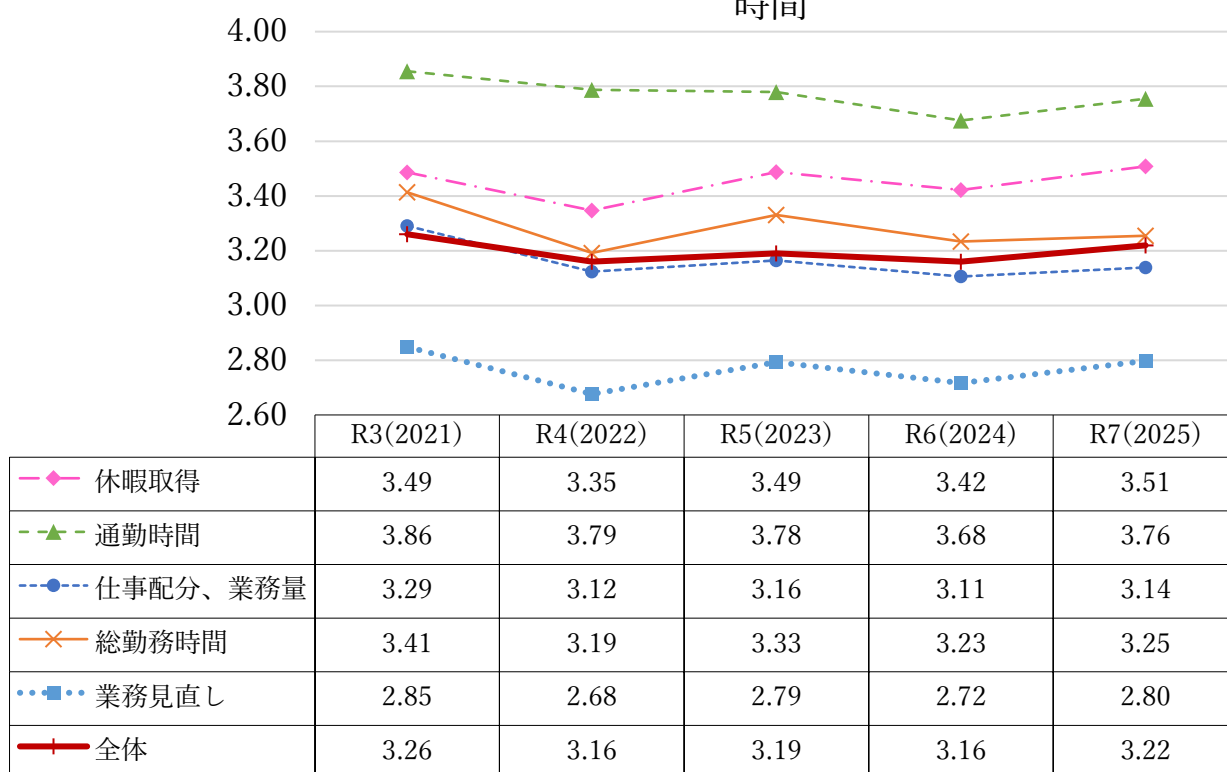
安全・安心



II 時間

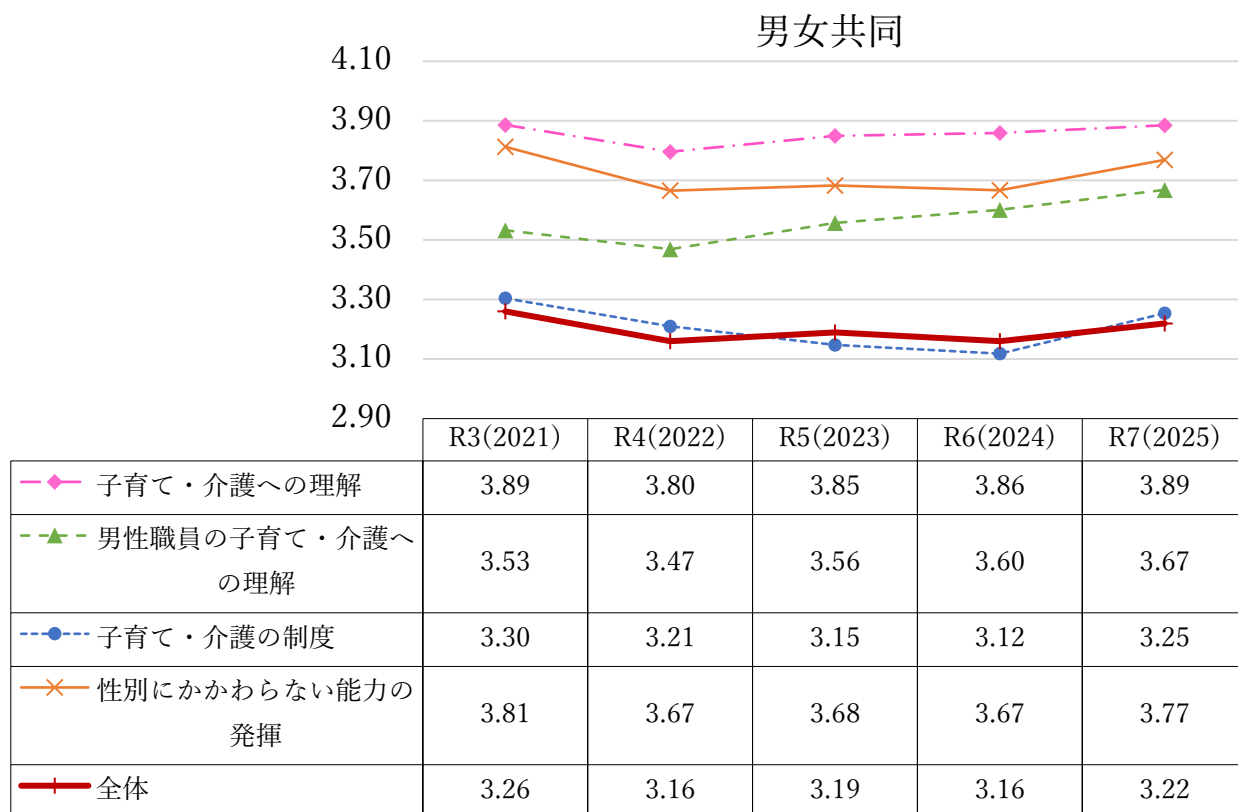
・いずれの年度も、「業務見直し」の点数が突出して低くなっています。

時間



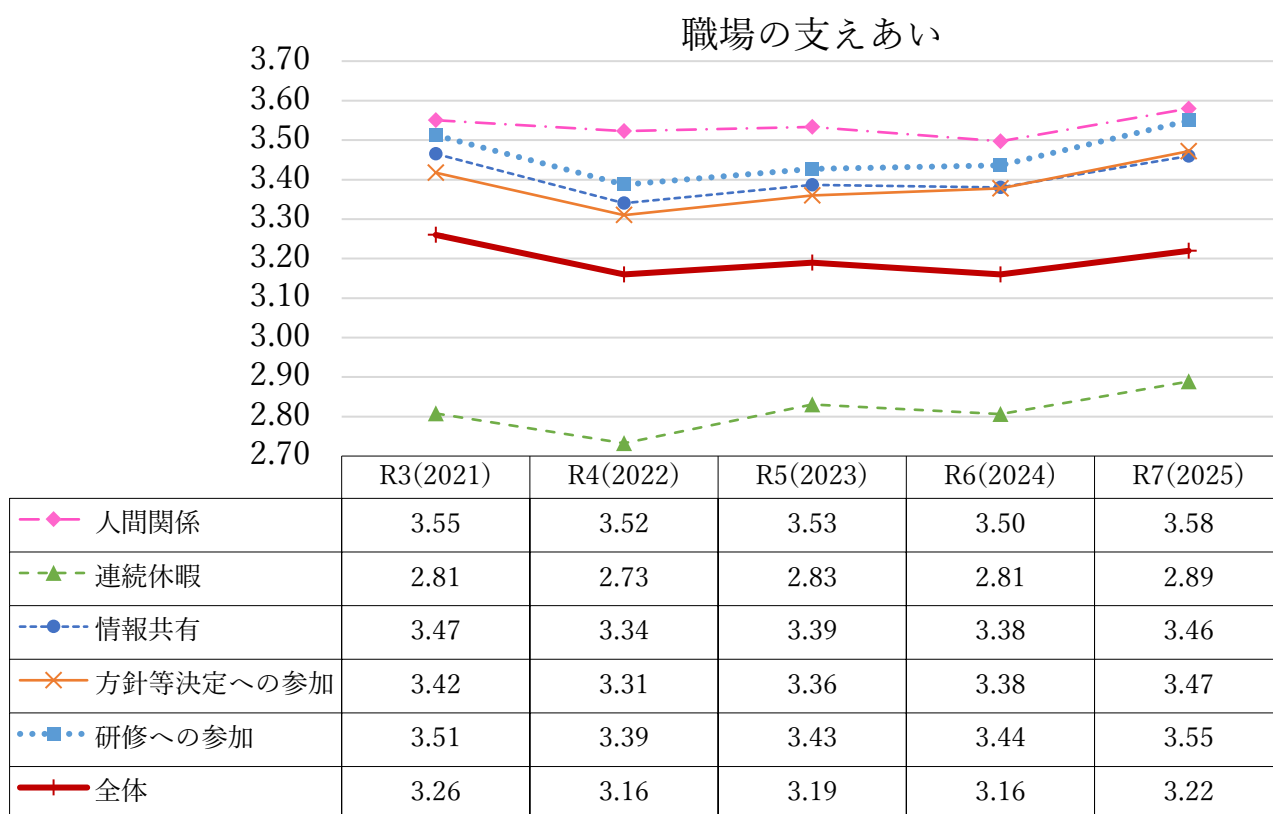
Ⅲ男女共同

- ・全ての設問において、全体より高い点数をとっています。
- ・「子育て・介護の制度」では昨年度から点数が上昇し、今年度は全体点数よりも高くなりました。



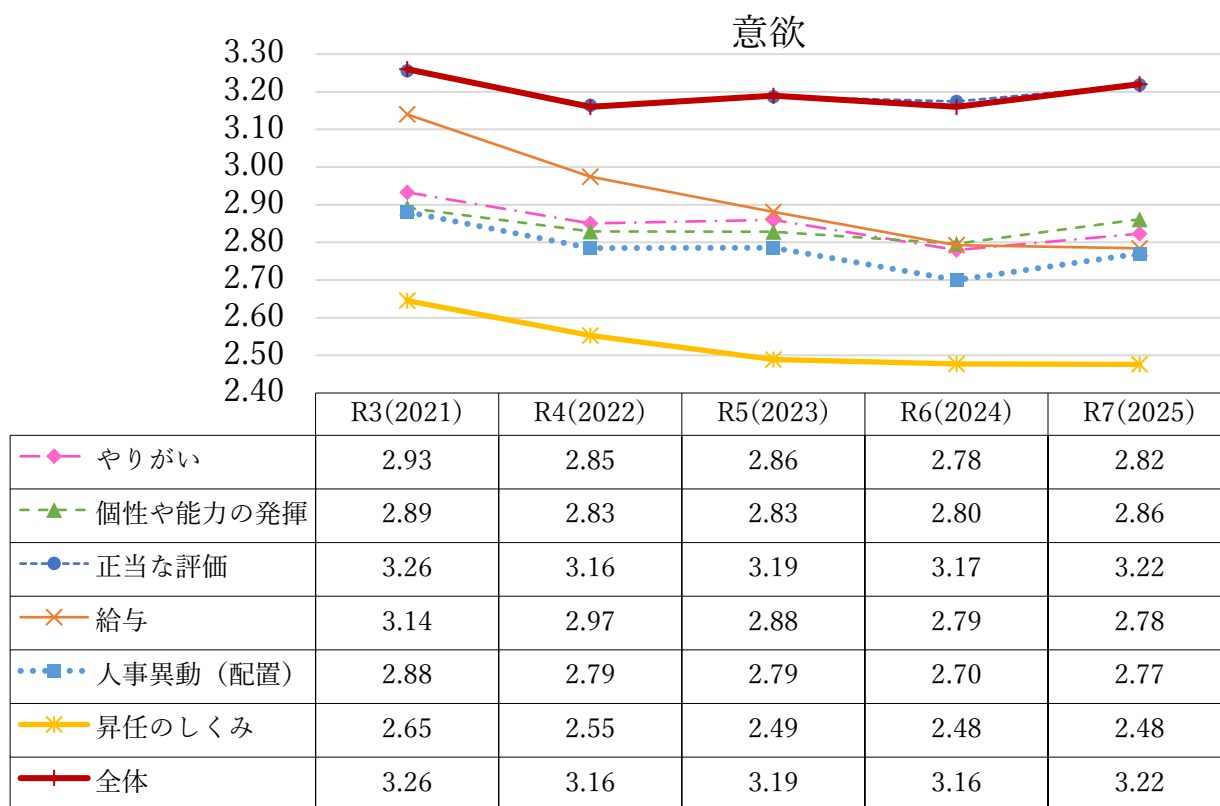
Ⅳ職場の支えあい

- ・いずれの年度も、「連続休暇」の点数が突出して低くなっています。



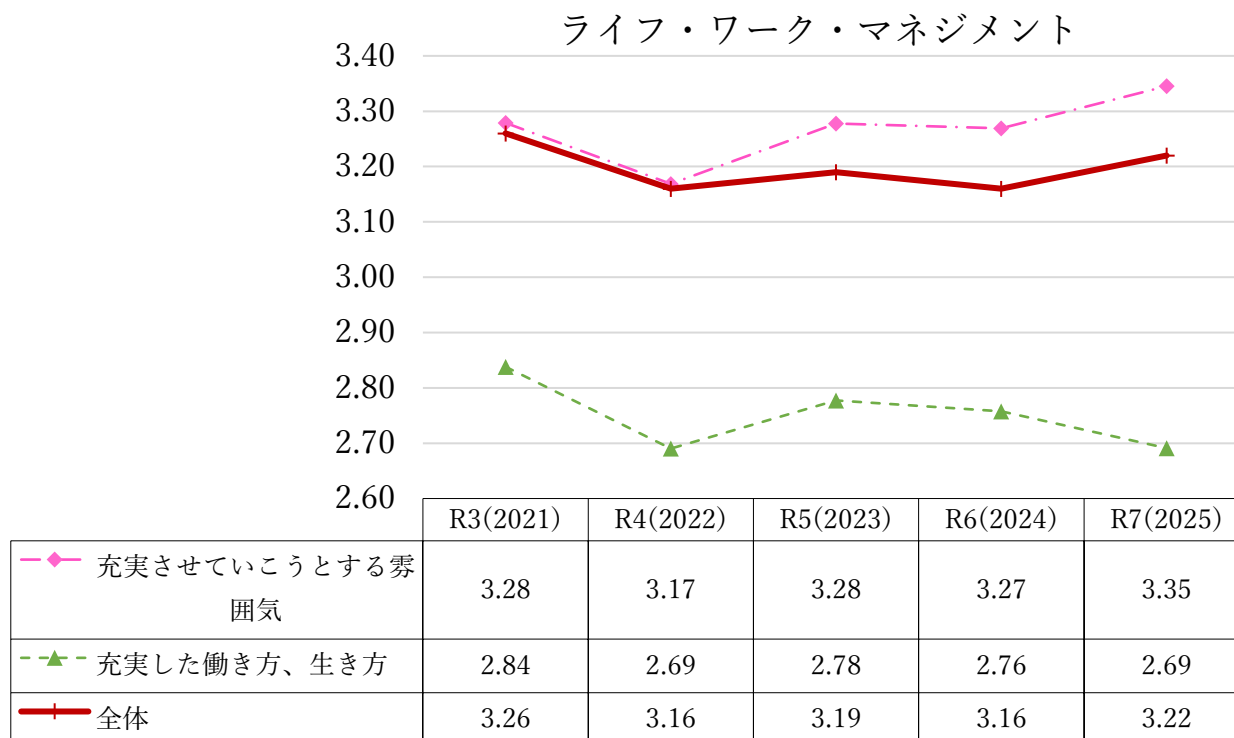
V意欲

- ・「正当な評価」を除き、全ての年度で全体点数を下回っています。
- ・R3年度以降「給与」「昇任のしくみ」の点数が低下し続けており、「昇任のしくみ」については、全ての年度において全28問中最下位となっています。



VIライフ・ワーク・マネジメント

- ・ライフもワークも充実させようとする雰囲気の数値は上昇し、全体点数よりも高くなっていますが、個人のウェルビーイングの高まる働き方や生き方につながっているとは言えない状況です。



(6)日本一、働きやすい県庁(しょくば)の推進に向けての自由記述意見

634人の職員から回答がありました。主な意見は次のとおりです。

※件数には重複あり

○業務量に関する意見 140 件

- ・思い切った業務削減をトップダウン、ボトムアップ両方で進めていく必要がある。
- ・業務量に応じた適正な正規職員の配置が必要。
- ・職員数も減っている中、業務のスリム化があまりされていないように思う。
- ・定時で帰ることができる仕事量にしたい。
- ・全庁的な業務量の削減が必要と考える。
- ・所属によって業務量や勤務時間の偏りがある。
- ・AIを活用するなどして、職員の業務負担が少しでも減らせるようにしていくべきだと感じる。

○組織風土に関する意見 119 件

- ・すべての職員が意欲的に取り組み、能力を発揮することが必要。
- ・互いに配慮し、支え合う意識をもって仕事に取り組める組織であること。
- ・職員同士のコミュニケーションが不足していると感じる。
- ・何事も相談のしやすい雰囲気が必要だと思う。
- ・ダブルチェックや情報共有が盛んに行える雰囲気が欲しい。

○人事に関する意見 91 件

- ・人事異動の際に、なぜそこに異動になったのか、どういったことが期待されているか等、もう少し説明があったほうがいいのかではと感じる。
- ・人事異動の発表が遅く、引っ越し等の準備が十分できるような期間が設けられていない。
- ・専門性が高い職場のわりに異動スパンが早く、技術継承がなされていない。
- ・各々の家庭事情をしっかりと考慮した人事異動をして頂きたい。

○定数に関する意見 83 件

- ・全体的に時間外勤務が多いため、適正な人員の配置をお願いしたい。
- ・定数の配置の全庁的なバランスの是正が必要。
- ・事業計画を立てる際、人的リソースも加味することが必要。

○勤務制度に関する意見 81 件

- ・子育てをしている職員も働きやすいように、様々な時間帯で働けるような制度があるといい。
- ・フレックスタイム制や選択制週休3日制度が導入されれば、ワークライフバランスの充実に資すると思う。
- ・多様な働き方ができるように選択肢を持てる勤務制度(フレックス勤務など)ができるとよい。
- ・部分休業を取得できる対象の子の年齢を拡大してほしい。

○執務環境に関する意見 80 件

- ・制度として時差勤務を認めているのであれば、空調もその時間に合わせて運用すべき。
- ・各自の業務スペース(面積)が狭いため、窮屈に感じている。落ち着いて業務に専念できるような環境を整えてほしい。
- ・休憩や食事をするスペースがほとんどなく、昼食を自席で食べる必要があり、息抜きができない。

○その他

- ・何がパワハラに該当するのか周知が必要。
- ・セカンドキャリアの支援を考えてほしい。
- ・若手を育成する時間を確保するためにも、職場全体の業務効率化に取り組んでほしい。

3 今後の取組

今年度のアンケート結果(数値、自由記述意見等)について各部局へ情報共有し、各部局等労使協働委員会において課題や今後の対策を検討するとともに、専門家等の意見も参考としながら、労使協働で職員の満足度向上に向けた取り組みをより一層推進していきます。